



学校だより

平成29年2月8日
佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 NO. 49
〒952-3541 佐渡市水津 858
Tel.0259(29)2313 小：E-mail maehama-es@sado.ed.jp
中：E-mail maehama-js@sado.ed.jp



自分を大切にすること

前浜小学校 校長 清水 昭博

3学期がスタートして、1か月が経とうとしています。昨年までと比べ、今年の冬の寒さや積雪には正直参ってしまいます。そんな中、子どもたちの元気に登校する姿に頼もしさを感じます。全員が元気に一年を終わることを願ってやみません。

さて、皆さんご存知のマイアミマーリンズのイチロー選手も、メジャーリーグへ移籍して16年が経ちました。この間、年間最多安打や10年連続200本安打の新記録を達成しました。この数字自体大変なことなのですが、そこへ到るためのイチロー選手の自分自身への管理などを考えますと、その裏には、凡人には思いもつかない大変な努力があったことがうかがえます。

イチロー選手は、日本にいた新人時代から含めて、大きなけがで故障したことがありません。大小様々なスランプは当然あったとしても、日頃の健康管理がしっかりしている証拠です。そして、何よりも自分の野球道具を大切に扱っているそうです。試合後、ロッカールームでグローブの手入れをする姿をご覧になった方もいると思います。毎日のプレーには、うまくプレーできず腹が立つこともあると思います。でも、道具にあたったり、粗末に扱ったりすることはないそうです。また、試合が始まり、最初の守備につく時、スタンドを見て、見に来てくれているお客さんの中から子どもの姿を探すそうです。アウトにしたボールをその子にあげるためだそうです。一流と言われる人は、自分自身を生かすために自分を大切に、努力し、そして人や物を大切にしているということ、イチロー選手が、こういったことを通して教えてくれています。

私たち教師は、子どもたちが人生の中で一人の人間として輝いてほしいと願っています。誰もが一流になることはできないと思いますが、子どもたちが輝こうとする意欲を持たせるのは、私たち大人の責務だと思います。日頃学校では、学習活動の中で友達と関わり合い、助け合い、相手のよさに気づかせる体験をたくさん作るよう心がけています。そのためには、子どもたちの心の健康が不可欠です。家庭のあるべき姿が重要となります。子どもたちにとって一番安心感がある場所は家庭です。家庭で保護者の温かい愛情を受け、子どもたちは心のエネルギーを満たします。エネルギーが満たされた子どもは学校でも意欲的です。勉強や友達との関わりも前向きで積極的に頑張ります。自分を大切にしようとし、何よりも自信のある行動ができます。エネルギーが満たされない子どもは朝から元気がなく、すべてに自信と意欲がありません。人のせいにして、友達とのトラブルも起こしがちです。

本年度も残りわずか、わが子の健全な成長に見通しを持ち、保護者として毎日の子どもとの関わりを大切にしていだければと思います。

日頃学校では、学習活動の中で友達と関わり合い、助け合い、相手のよさに気づかせる体験をたくさん作るよう心がけています。そのためには、子どもたちの心の健康が不可欠です。家庭のあるべき姿が重要となります。子どもたちにとって一番安心感がある場所は家庭です。家庭で保護者の温かい愛情を受け、子どもたちは心のエネルギーを満たします。エネルギーが満たされた子どもは学校でも意欲的です。勉強や友達との関わりも前向きで積極的に頑張ります。自分を大切にしようとし、何よりも自信のある行動ができます。エネルギーが満たされない子どもは朝から元気がなく、すべてに自信と意欲がありません。人のせいにして、友達とのトラブルも起こしがちです。

本年度も残りわずか、わが子の健全な成長に見通しを持ち、保護者として毎日の子どもとの関わりを大切にしていだければと思います。



【 学習参観（道徳）1/27（金） 】

1日学習参観の日の5時間目に全校で道徳の授業を行いました。「かかわり」「思いやり」をテーマにして、それぞれの学級で学年に応じた工夫された授業が行われました。1, 2年生は、仲良くなる「まほうのことば」について、3, 4年生は「仲直りできることば」について、5, 6年生は「新潟水俣病」について学びました。



【 スキー教室 2/1（水） 】

隔年で実施しているスキー体験学習をワンダーバレースキー場で行いました。

はじめは、平らなところで滑ることに慣れていき、徐々に斜面を使って滑る練習をしていきました。子どもたちは、インストラクターの言うことをしっかりと聞き、どんどん上達をしていきました。冬の自然やスポーツに親しみ、楽しい1日を過ごしました。



【 豆まき集会 2/2（木） 】

豆まき集会が行われました。自分の心の中の悪い鬼「好ききらい鬼」や「宿題すぐやらない鬼」などを発表したあと、その鬼に向かって豆をまきました。そこになんと、本物の鬼(?)が現れて暴れ出しました。子どもたちは、鬼めがけて力一杯豆をまき鬼退治しました。きっとこれからは、好き嫌いを食べたり、宿題をすぐやったりして、心の鬼も退治できたと思います。

新たな気持ちで一歩前進する転機になったことでしょう。



【 前中タイム発表会 1/27(金) 】

「前中タイム」は、当校が行っている「総合的な学習の時間」の授業のことです。「ふるさとに学ぶ」を学習テーマに、地域の自然、伝統や文化、産業や職業などを調べる学習に取り組んでいます。学習の中で必要な情報を集めたり、課題を見つけ解決したり、まとめて発表する力を伸ばします。地域の魅力や良さを知り、大切にしたり貢献したりする気持ちを育むとともに、将来の自分を考える機会ともなっています。毎年1月に発表会を行っており、今年は2学期に行った職場体験活動について全校生徒が発表しました。

今年の職場体験活動は、体験先から提示された職場や仕事に関する課題を解決することを目標として行いました。生徒は、職場で働く人たちの様子を見たり実際に働きながら解決策を考えたり、体験後にインターネットで調べるなど、様々な方法で課題解決に取り組みました。そして、各自が取り組んだ内容を、文字の加工や写真の取り入れ、アニメーション等の工夫を入れながら、分かりやすく発表することができました。



【 佐渡バドミントン総合団体選手権大会 2/5(日) 】

佐渡市バドミントン協会が主催する標記の大会が、サンテラ佐渡スーパーアリーナで行われました。当校の1・2年生選手3名は、佐渡中等教育学校の選手2名と団体を組んで、中学生の部に出場しました。予選リーグを1位で通過し、決勝で畑野中学校Aチームに2-0で勝ち、みごとに優勝しました。



【 第2回生徒総会 2/6(月) 】



1年間の生徒会活動を振り返り、次年度の活動に向けて全員で話し合う、今年度2回目の生徒総会を実施しました。本部からは全校アンケートの結果をもとに、「小学生との仲を深めることができたか」については、91%の生徒が肯定的に答えたこと、「言葉遣いをよくすることができたか」については、42%の生徒が肯定的に答えたことが報告されました。各委員会からは、生徒数が減少することから活動内容の見直しや分担等の改善が必要であることが提案されました。質疑や要望等もたくさん出されるなど活発な生徒総会となりました。

総会后、新旧生徒会本部役員の引き継ぎと、来年度生活委員長となる K・T さん、JRC委員長となる Y・S さんに新生徒会長の K・M さんから委嘱状が渡されました。

【 3学期始業式 1/10(火) 】

冬休みが終わり、児童生徒全員が元気に登校しました。小学生は元気な大きな声で「おはようございます。」と挨拶していました。中学生は、年末年始の思い出話などで友だちと盛り上がり上がっていました。

始業式は、小学校が少人数教室、中学校が多目的室で行いました。小学校は各学年の代表児童6名、中学校は全校を代表して2名の生徒が新学期の目標や抱負を発表しました。2学期や冬休みの生活を反省し、「ドリルをがんばりたい。」「字を丁寧に書きたい。」「入試に向けて苦手教科に取り組む。」など、学習や学校生活で頑張りたいことや進級や進学に向けて頑張りたいことを力強く発表することができました。



【 書き初め大会 1/11(水) 】

中学校は、冬休み中の課題として取り組んだ2つの作品の中から1点を全国競書大会に出品し、1点を廊下に掲示しました。作品を見ると取組の様子が伝わってきます。優秀な作品を校長先生が選び、リボンを付けて讃えました

小学校は、教室(1, 2年生)と多目的室(3~6年生)に集まって書き初め大会をしました。新年の晴れやかな気持ちを持って、集中して取り組みました。字の一面一面をととても丁寧に書くことができました。作品は廊下に掲示し、他の学年の児童・生徒や保護者の方々にいただきました。



【 訪問給食指導 1/26(木) 】

給食週間の取組で、両津給食センターの佐々木栄養教諭が来校し、健康を保つために大切な食材についてお話していただきました。風邪予防にはビタミンAとCが、貧血予防には鉄分が、丈夫な骨作りにはカルシウムが必要だということをお話していただきました。子どもたちの中には鉄分が多く含まれている食材を言い当てる児童もいて、積み重ねてきた学習の成果がでているなど感じました。

